

ふしょうっこ日記

令和8年3月5日

「いまを生きる」

これは、附属学校園の教育理念です。今日は、6年生の学級で、この言葉に関する学習をしていただきました。講師の先生は、本校卒業生であり、後援会の方です。

正門を入った所に石碑があり、そこに「いまを生きる」という文字が刻まれています。

50年前、創立100周年の記念として設置されました。今は、全体的に青銅色のような色をしていますが、当時は文字が金色だったそうです。その話を聞いた後に、「いまを生きる」について考えました。「いま」と「今」、「を」と「に」、「いきる」と「生きる」で、どう違うかについて話し合いました。「ひらがなは優しい感じ、漢字はきつい感じがする」「『生きる』が漢字だと、ガーンと強調される」「『を』だと場所を表している感じがする」等、表記の仕方でイメージが変わるという意見が出ました。当時の先生方も、どのような表記にしようかと議論を重ねられたそうです。（その内容については、HPの「学校紹介」の「歴史」に、当時の校長先生のお話が載っていますのでご覧ください。）

「いまを生きる」という言葉が誇りに思えるようになるときが来る、その時までこの言葉を胸に残しておいてほしいと結ばれました。「いまを大切にしよう」という温かい気持ちが残ったようです。

